

令和4年度岐阜県統計グラフコンクール審査結果について

- 主 催 岐阜県
- 後 援 岐阜新聞社、岐阜放送、岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校教育研究会
- 目的等 本県における統計知識の普及と統計の表現技術の研さんを目的に、統計グラフ全国コンクール推薦作品の選考を兼ねて毎年開催

○グラフの課題及び評価のポイント

統計グラフ全国コンクールに準じる

○応募作品数の推移

(単位：作品)

	第1部 (小 1・2)	第2部 (小 3・4)	第3部 (小 5・6)	第4部 (中学)	第5部 (高校・ 一般)	パソコン 統計グラフ の部	計
令和元年度	247	271	206	158	-	68	950
令和3年度	155	207	149	98	-	49	658
令和4年度	144	163	111	125	-	33	576

○入賞区分内訳

(単位：作品)

	岐阜県 知事賞	岐阜新聞社・ 岐阜放送賞	入選	佳作	奨励賞	合計
第1部	1	1	3	5	10	20
第2部	1	1	3	5	10	20
第3部	1	1	3	5	10	20
第4部	1	1	3	5	10	20
第5部	-	-	-	-	-	-
パソコン統計 グラフの部	1	1	3	3	5	13
合 計	5	5	15	23	45	93

令和4年度岐阜県統計グラフコンクール作品評

総 評

岐阜県統計グラフコンクールの歴史は古く、今年度で70回目を迎えました。本県の作品は、全国コンクールでも毎年高い評価を得ております。昨年度も、大垣市立興文中学校1年の川瀬 麻菜さんの作品「減らそう 日本の借金！～あなたは何かをする？～」は、見事入選となりました。また、岐阜県から出品した23点のうち、10点が入賞となりました。

これもひとえに、関係者の皆様が「統計知識の普及と統計の表現技術の研鑽」を目的とした本事業の趣旨をご理解いただき、積極的に啓発・指導いただいた成果であると感謝しております。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染の第7波に見舞われ、県内でも、7月中旬から1日の感染者数が1,000人を超え、お盆明けには5000人を超えるという状況に至りました。行動制限がなかったとはいえ、非常に厳しい生活を強いられました。そのような中でありましたが、県内各地から576点の作品が寄せられました。

作品をみますと、よりよい生活や社会をめざしたものが多く、コロナ禍による生活や人の意識の変化をテーマとするものも多くありました。また、作品づくりの過程では、級友や近所の人等、多くの人にアンケートをしたり、現地に出向いて調査をしたりするなど、大変意欲的な情報収集が行われていました。コロナ禍に負けない、たくましい子どもたちの姿に胸が熱くなりました。各部で特に印象に残ったことを紹介します。

<第1部：小学1・2年生>

生活科で育てた野菜や毎日背負うランドセル、友達やおじいちゃんなど、身のまわりの物や身近な人から、低学年らしい発想でテーマを見つけることができていました。また、友達から聞き取ったことを、表に整理して集計し、グラフ化するという手順が、きちんと踏まれていました。

<第2部：小学3・4年生>

自分の学校のくらしを、自分の住む街をよりよくしたいという思いからテーマを設定するものが多くありました。また、アンケート調査や聞き取りの他に、実験で調べてデータを収集することもできていました。さらに、二つのグラフの関連を分析することができているものもあり、学習の積み上げの確かさを感じ取ることができました。

<第3部：小学5・6年生>

自分の将来を考えるもの、中学校生活を考えるものなど高学年らしいテ

ーマ、防災や節電やフードロスなど、よりよい社会の実現を目指したテーマが多くみられました。また、グラフの特性と自分の調査内容を考えて、適切にグラフを選択することができていました。データの分析も緻密で、審査員をうならせるものが多くありました。

<第4部：中学生>

物価上昇、ジェンダーフリー、ヤングケアラー、政治参画など、世の中の課題を鋭く突くテーマが多かったです。様々なデータを収集し、多角的、多面的な分析がなされていました。言葉の吟味、レイアウトの工夫、色使いなど、内容的にも視覚的にも見ごたえのある作品ばかりで、義務教育9年間の学びの集大成を感じ取ることができました。

<第5部：高校生・学生・一般>

今年度は応募がありませんでした。

<パソコン統計グラフの部>

パソコンの機能を活用して、見る人を引きつけ、伝えたいことをより印象付ける作品に仕上げることができていました。グラフのスタイルやレイアウトの工夫、写真やイラストの効果的な活用が素晴らしかったです。公共施設にそのまま掲示したいような作品が多数ありました。

最後に、よりよい作品にするための留意点を示します。これらのことに留意し、来年度もすぐれた作品が多数出品されることを期待します。

【グラフの選択・作成について】

- ・低学年では、学校での学習時期や発達の段階を踏まえて適切なグラフを選択し、同学年の児童が見てわかるような作品にしましょう。
- ・グラフを立体で表すと、割合や大きさが変わってしまうことがありますので、正確に表すことを大切にしましょう。

【構成・レイアウトについて】

- ・主張したいことがよりよく伝わるタイトルを設定しましょう。それに合わせた設問の表現や、用紙内のグラフ配置などを工夫しましょう。
- ・他の人に見てもらおうことを考え、情報量、グラフの大きさ、形や色使い、配置などにも気を付けましょう。

【その他】

- ・「応募作品の規格」や「応募上の注意」をよく確認しましょう。特に、調査の時点、出典が分からないものが多かったです。気を付けましょう。
- ・第三者が作成した著作物の無断使用は法律で禁止されています。インターネット上にあるマークやキャラクター、写真等をそのまま引用・転載することは法律違反となる場合がありますので特に注意しましょう。